国語科学習指導案（６年生）

展開（５／１０時間）

ねらい：提案するテーマの現状や問題点、解決方法について、伝えたいことをより明確にする。

準備	【児童】教科書・ワークシート・タブレット　【教師】教科書・iPad・ワークシートを拡大した物	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 ○予想される児童生徒の反応（意識）	資質・能力を育成するための指導上の留意点 目的　○手立て、配慮事項　◇評価
５分	**＜学習課題の把握＞** １　前時の学習の振り返りを行うとともに、本時の学習の見通しをもつ。 〈めあて〉 提案するテーマの現状や問題点、解決方法について交流し、伝えたいことをより確かなものにしよう。	見通しをもって学習に取り組めるようにするために ○「説得力のある提案書を書く」というゴールを意識させるため、単元のめあてを再度確かめる。 ○目的意識をもたせるため、提案者が伝えたいことをより確かなものにするために交流するのだということをおさえる。
５分 25分 ５分	**＜課題の追究＞** ２　それぞれがまとめた現状、問題点、解決方法について考えを交流、助言し合う。 Ｔ：交流の仕方を説明します。 ・４～５人グループ。一人分５分目安で交流する。 ・グループのメンバーのワークシート、写真をピックアップする。 ・一人のワークシートを見ながら、交流する。 ・質問して考えを引き出したり、助言をしたりする。 ・よいと思ったらそれも伝える ・その場で直したり書き加えたりしてよい Ｓ：現状について、こんな場面も見たことがあるよ。 Ｓ：こういう問題点もあるんじゃないかな。 Ｓ：この解決方法のポスターとは、具体的にどんな内容のポスターを考えている？ Ｓ：この方法だと低学年には伝わりにくいから、こんな方法はどうかな。 Ｓ：声かけ運動は、いつどこで行なうとよいと思う？ Ｓ：この問題点に対して、この解決策はよいと思う。 ３　一人一人が自分自身の考えを整理する。 Ｓ：アドバイスをもらったこの方法がよさそうだ。 Ｓ：問題点は２つにまとめよう。 Ｓ：解決方法がたくさん出たけど、この２つにしぼろう。	提案者の伝えたいことをより明確にする交流を行えるようにするために ○スムーズに交流を進められるようにするため、本時までに個人のワークシートの写真を提出させておく。（タブレットで撮影し、教師に提出） ○提案者の考えがより明確になる交流ができるようにするため、質問や助言の仕方、意見の述べ方を具体的に示す。 ○活発に交流できるようにするため、提案者の考えを引き出してあげられるよう、くわしく質問をするよう助言する。 ○友達との交流で気付いたことや考えたこと、友達の助言などはその場でメモしておくように指示する。 ○話し合いながら、改めて調べたいことが見つかった場合は、この後の個人の時間に調べてよいことを伝える。 交流を元に考えを整理できるようにするために ○それぞれが自分自身の考えを整理できるようにするため、個人の活動に戻し、交流したことをもとに改めて見直し、書き足したり直したりするよう助言する。 ◇評価 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ＜ワークシート・観察＞【思考・判断・表現】
５分	**＜本時のまとめ＞** ４　本時の振り返りをする。 Ｓ：友達と交流して、自分の考えをしっかりもつことができたな。 Ｓ：友達と交流して、アドバイスをもらって書き足すことができてよかったな。	本時で達成できたことを確かめ、次時への見通しをもてるようにするために ○次時の学習へつなげるために、本時のめあてに対して、達成できたことを一人一人振り返られるようにする。 ○次時の学習への意欲付けを行なうために、交流の場面でよくできたことや、個人の取組でよくできたことを具体的に賞賛する。